



## あさかわ まちづくり ニュース

長野市浅川地区住民自治協議会 まちづくり計画推進委員会

平成30年10月1日 第10号 委員長・小林芳信 編集・北條昭吾

9月9日、36人で真光寺の遊歩道・斜面とフジバカマ・菜の花植栽地の草刈り  
浅川改良事務所、浅川支所職員、チーム・フロンティア浅川など36人は、9月9日(日)、



真光寺の遊歩道、花モモ植栽地斜面、浅川ダムの一之瀬橋下の左岸フジバカマ植栽地、右岸の菜の花の種まき予定地の草刈りを行いました。



真光寺の遊歩道と花モモ植栽地の斜面では、8月5日に草刈りをしま

したが1mにも伸びた草を10人余が草刈り機で刈り取り途中で移動、引き続き浅川ダムの一之瀬橋下の左岸で実施、5月12日に植えたフジバカマにはつぼみがつき、新芽も発生し参加者は根元の雑草を刈り取りました。

また右岸の、菜の花の種をまく予定地では、15台の草刈り機が人の背丈ほどもある雑草を刈り取りました。当日は天候悪化の為、菜の花の種蒔きは9月13日に行いました。

9月4日、ゴマシジミの研究の第一人者を招いて学習会を開催

浅川住自協まちづくり推進委員会ゴマシジミ保護育成チームでは、長野市霊園に生息するゴ



マシジミの保護育成を霊園を管理する長野市開発公社と一緒にしていますが、9月4日ゴマシジミの研究の第一人者で大阪府立大学大学院の上田昇平助教が霊園のゴマシジミ生息地を視察、そのあと行政関係者を含め学習会をおこないました。

この学習会は上田助教が、昨年につき、浅川の長野市霊園のアリの調査に合わせ、地元のゴマシ

ジミ保護育成チームの活動を後押ししようと開催したもので関係者31人が参加しました。

この学習会の関心は高く、信大名誉教授、環境省・自然環境事務所、長野県自然保護課・長野県環境保全研究所、長野市環境温暖化対策課、長野市開発公社、ながの環境パートナーシップが参加しました。

上田昇平助教は浅川霊園のゴマシジミについて生物多様性の中で絶滅危惧種の保護育成についての重要性の位置づけ、食草のワレモコウと共にゴマシジミと共生するクシケアリの微妙な共生関係について学習しました。

長野市霊園ではこれまでクシケアリが見つかっておらず、全国で99カ所のクシケアリの巣を掘った経験からクシケアリの巣を見つけるか、クシケアリの代わりをする生態系・種・遺伝子の多様性などから科学成分分析などで、霊園でゴマシジミが生息している理由を探ろうと研究しているとの事です。

8月28日 浅川小3年生が地元の協力で坂中でジャガイモ掘り体験



浅川小学校3年生64人は、4月11日に坂中の遊休農地にジャガイモを植え付けましたが、8月28日坂中の方々など20人の応援をえてジャガイモ掘りを体験しました。

春に植えたジャガイモは坂中の方々によって土寄せ・草取りが行われ収穫の時期を迎えました。

(次ページにつづく)

畑には、春に児童1人が5個植えた所に名札が建てられています。

児童たちは、この時を楽しみにして、我先にと軍手をした手でジャガイモを掘り出し歓声を上げていました。

掘り出したジャガイモをビニール袋に入れ「帰ったらお母さんにジャガバタを作ってもらいたい」と目を輝かせていました。



収穫作業後、地元の方々が用意した蒸かしイモ・キュウリモみ・生キュウリ・ゆでモロコシが用意され「おいしい・おいしい」と嬉しそうに食べていました。

この浅川小児童のジャガイモ植え・収穫作業を、坂中の皆さんが世話をして15年位になるとの事です。

## 里山整備 平成31年度からは県森林づくり県民税を活用して整備

平成30年度「あさかわの里山と森を守る会」総会が会員等28人が参加して開催され、31年度以降は、県森林づくり県民税を活用して里山整備することが明らかになりました。

長野市の「一支所一モデル事業」3年計画は平成30年で終了、平成31年からは「里山整備活動の実施」として「長野県森林づくり県民税を活用した」里山整備として台ヶ窪地区78ヶ所をモデルとして活動する。県民税による浅川の森林資源の利活用に向け、県の「里山整備利用地域制度」の「里山整備利用地域」認定に向け取り組むことが決定されました。

## 8月20日 菜の花種まき等で第5回浅川ダム利活用懇談会

県浅川改良事務所が主催、浅川住自協まちづくり計画推進委員会との第5回浅川ダム利活用



懇談会は8月20日に開催され、ダム見学会やダム一之瀬橋下右岸での菜の花の種蒔きなどについて話し合われました。

県からは8月のダム見学会は4回行い80人が見学、9月も9日～11日にも予定している。菜の花種まきは県と地元で行う。また左岸ではフジバカマの周囲の草刈りなどを行う。

10月17日～22日の6日間「裾花溪谷・紅葉を楽しみ裾花ダム・奥裾花ダム・浅川ダムをめぐる旅」(仮称)を計画している。来年に向け浅川ダムのこいのぼり掲揚の反省会をしたいなど提案がありました。

浅川住自協からは、9月8日にダム広場の草刈り、9月24日にはダム広場での野菜直売の開催予定が報告されました。

次回第6回浅川ダム利活用懇談会は10月10日に開催します。

## 『楽しい登山を体験出来ました』飯綱登山で「山の会」へ礼状

**登山ボランティアのみなさん  
ありがとうございました。**

浅川小学校5年生は、6月7日林間学校の一環として飯綱登山を行いました。「浅川ボランティアクラブ・山の会」からは5人が同行、このほど5年生から「山の会」に礼状が届きました。

礼状の一部を紹介すると「ボランティアの皆さんが安全確認や一緒についていてくれて、おかげで全員登れました」「私は頂上まで登れたのは奇跡だと思います、私はあまり運動しないのでキツイかなと思っていましたが、ボランティアの皆さんに手助けしてもらってうれしかったです」「標高を教えてくれたり、がんばってと言ってくれてうれしかった」「登山したことがあったけれど標高など教えてくれたり、元気づけたりしてくれました、だからみんな登り切れたのかなと思いました。もう一回登りたいと思います」「皆さんのおかげでつらくてもなんとか山頂まで着けました、知識も身につきました」など生徒68人から礼状を頂きました。

「がんばって登る体験をした結果、登山が好きになった子供たちが多くいる」ことがうかがえます。

今回の登山では学校と山の会とが事前の打ち合わせをしたり、ゆっくりペースで登山で来た事、先生の手が回らないつかれた子に付き添ってサポートした事など、児童たちの好印象につながったと思われます。